

# 平成26年度 第3回仙北地域協議会 会議録

---

●日 時：平成26年8月19日（火） 15：00～16：40

●会 場：市役所仙北庁舎3階 大会議室

---

## ●出席委員（14名）

池田 キミ	伊藤 良子	大釜 滝浩	大河 奈々子
後藤 孝子	齋藤 勇一	佐々木 勝夫	佐々木 誠孝
佐藤 美佐子	佐藤 隆造	須田 若子	中野 信一
原 隆新	吉田 利雄		

## ●欠席委員（3名）

伊藤 まり子      大西 茂雄      今野 順子

---

## ●職員（仙北支所）

竹内 徳幸	（仙北支所長）
伊藤 隆造	（市民サービス課長）
須田 和久	（農林建設課長）
小松 徹	（仙北公民館長）
新田 一実	（農林建設課参事）
藤嶋 勝広	（市民サービス課主幹）
小松 暢子	（市民サービス課副主幹）

---

## 1 開 会      市民サービス課長      伊藤隆造

ただいまより平成26年度第3回仙北地域協議会を始めます。初めに会長さんより皆様にごあいさつをお願いいたします。

## 2 会長あいさつ      仙北地域協議会 会長      吉田利雄

蒸し暑い日は続いておりますが、委員の皆様の健康そうな顔を拝見いたしまして安堵しているところでございます。この後も残暑が続くと思われませんが、健康に気をつけて地域のために努めていただきたいと思います。

先般の協議会の研修におきましては、菅江真澄について見聞を広げたところでございます。佐藤委員さんにはご難儀をおかけいたしました。非常に有意義な内容でございました。実際に展示物等を見れば、理解につながり易いところがあり、我々の地域で標柱について熱心に進めている中で、一つの礎になる思いでありました。この後改修が待たれる何本かについても継続していき、管理していければ後継の方々にも有益な活動につなげることが出来ると思われまますので、よろしくお願いいたします。

今日も限られた時間ではございますが、新規についてⅠ型が2件、Ⅱ型が5件、Ⅲ型が2件で合わせて9件と、継続についてⅠ型が2件とⅢ型が1件の3件、合計12件の議案が出てございます。皆様からよろしくご審議いただけますようお願い申し上げます。

### 3 支所長あいさつ 仙北支所長 竹内徳幸

委員の皆様には、お忙しい中をご出席いただきまして、ありがとうございます。

今、ご覧のとおり庁舎の耐震補強工事を行っておりまして、騒音や暗さ等で大変ご迷惑をおかけしております。工期が11月中旬までということで、引き続きしばらくご迷惑をおかけいたしますが、ご理解をいただきたいと思っております。

先週の金曜日、15日には、お越しいただいた方もおられると思っておりますが、「彩夏せんぼく」が行われました。残念なことに朝から雨が降っていったので、ほとんどのイベントを「ふれあい文化センター」に会場を変えて行いました。そのような状況の中でしたが、約800人のお客様に来ていただきました。「こども魚つかみ取り」と「花火ショー」は弘田の会場で行いましたが、「魚つかみ取り」の時には雨も弱まりまして、60人ほどの親子でにぎわって行いました。「花火ショー」も小雨がぱらつきましたが予定どおり行うことができ、結果としては、計画したことを順調に実施することができたと思っております。ご協力ありがとうございました。

また、7月29日に市長が仙北地域を訪問視察いたしました。その中で、新しく建て替えた菅江真澄の標柱（南陽院）を見ていただいたところ、標柱改修は、仙北地域だけでなく大仙市全体で取り組んでいくべきなので、支所長会に提案してみてくださいとの指示をいただきました。その後、支所長会で話し合った結果、市全体で取り組む場合は、教育委員会が所管すべきだということになりました。予算等々の関係もあり、今すぐにといいわけにはいきませんので、今のところ具体的な目途はついていない状況であります。仙北地域に関しては、ここまで整備が進んでおりますので、申

請があれば、引き続き進めていってよいのではないかというように思っております。

なお、本日の案件は、Ⅰ型が4件、菅江真澄の標柱建て替えのⅡ型が5件、Ⅲ型が3件、の計12件でございますので、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

#### 4 会議録署名委員の指名 吉田会長

会議録署名委員の指名を行います。今日の会議録署名委員は、原隆新委員、伊藤良子委員をお願いいたします。

#### 5 議 事

##### ○吉田会長

それでは、案件の協議に入らせていただきます。

議事の(1)地域枠予算について、No.8～No.19までが今回の審議内容でございます。No.8「被災者支援記念桜樹勢維持管理事業」について事務局より説明をお願いいたします。

##### ○説明者 市民サービス課 藤嶋主幹

No.8 資料1 事業名 被災者支援記念桜樹勢維持管理事業  
申請者 市民サービス課長  
要望者 仙北地域老人クラブ連合会 会長 千葉嗣助

##### ○吉田会長

ただいまの説明は、No.8の記念桜の維持管理の申請であります。確かこれは、早咲きの桜で柵の湯の露天風呂から見ることができます。やはり元気がないように見受けております。この件について皆様いかがでしょうか。

##### ○佐藤(隆)委員

趣旨・内容等についてはもちろん賛成ですが、植物の生育は気候に左右されるものだと思います。3本のうち2本が枯れたことが、手入れが悪さだけが原因なのかが気になります。樹木医さんのご意見等も取り入れた見積もりと思われませんが、この地域は積雪寒冷地帯がために植物と合わなかった、ということであれば非常に残念ですので、そのあたりの事情を教えてください。

○伊藤課長

平成10年に現在の所に植えているので、幹がもっと太くなっていなければならず元気がないといくことで、業者である樹木医に相談して何とか元気になる方法をとということでこの見積もりを出してもらいました。桜1本の値段よりははるかに高くなりますが、別の桜を植栽しても意味がありません。このような養生の仕方成功している実績があるので、まずは任せてもらえないかという業者の見解をふまえての提案であります。

○佐藤（隆）委員

わかりました。そうすれば任せてくれないかということですね。

○池田委員

南の地方から来て育つことは大変なのですが、やはり手を掛けないで絶やしてしまうことは残念なので、努力した実績とともに後世に残せたら良いと思います。

○吉田会長

このままにしておくよりは、手を尽くして可能性が生んだ方がよいということですね。

○佐藤（隆）委員

養生した後、最終的な管理者ということになると、柵の湯ではなく老人クラブということになるのでしょうか。

○伊藤課長

今までは magari 家の樹木も含めて、柵の湯の方に管理してもらっておりました。やはり毎日傍にいる方々の見守りをいただきたく、引続きお願いする方向で考えております。

○吉田会長

老人クラブからの要請による申請ですので、桜の存在意義も含めて後世に伝えていくことになりましょうから、ある程度、何らかの形で老人クラブが関与するべきではないかと思えます。そのような取り組みも含めての承認ということで皆様いかがでしょうか。

**【全員一致で異議なしの声あり】**

それでは、可決とさせていただきます。

続いて資料2、No.9の「仙北福祉施設慰問事業」ということで、事務局の方から説明をお願いいたします。

○説明者 市民サービス課 藤嶋主幹  
No.9 資料No.2 事業名 仙北地域福祉施設慰問事業  
申請者 支部長 あじさいコーラス

○吉田会長  
仙北地域福祉施設慰問事業についての要請でございますが、前年度より引続きの事業でございます。皆さんからこの件についてご意見を頂戴したいと思っております。

○中野委員  
継続してよい使い道だと思います。賛成です。

○佐藤（美）委員  
続けて是非活動してほしいと思います。

○吉田会長  
今2名の方からご意見を出していただきましたが、皆さん全員の方が頷いておられる様子をお見受けし、全員が異議なしという感を受けたのですが、提案とお採択してよろしいでしょうか。

**【全員一致で異議なしの声あり】**

皆さんにご理解いただけたものとして、採択とさせていただきます。

○吉田会長  
続きましてNo.10の「仙北中学校ボランティア活動支援事業」でございます。これも継続でI型でございます。説明をお願いします。

○説明者 市民サービス課 藤嶋主幹  
No.10 資料No.3 事業名 仙北中学校ボランティア支援事業  
申請者 仙北支所長 要望者 仙北中学校長

○吉田会長

ありがとうございました。継続の I 型でございます。皆様からご意見をいただきたいと思えます。

○大河委員

昨年も作ったということですが、個人持ちにはならないのですか。その学年々で毎年作るのでしょうか。

○支所長

個人所有ではなく学校保管になります。昨年は 2 年生全員 56 人と、1 年 3 年 8 人の執行部、合わせて 64 人に活動していただいております。今年は、3 年生が 57 人全員と、2 年生が 51 人を合わせて 108 人で人数も増えておりますし、実施日数も増えているということから、みんなが着られるようにということで、今回も申請をされたということでございます。

○吉田会長

大河さんご理解いただけましたでしょうか。

**【大河委員、頷く】**

生徒へのふるさと教育の一環としての申請であります。皆様いかがでしょうか。

**【全員一致で異議なしの声あり】**

それでは、可決いただいたものといたします。

次に移ります。No. 1 1 「史跡の里秋まつり事業」についてご説明願います。

○説明者 小松仙北公民館長

No. 1 1、資料No. 4 事業名 史跡の里秋まつり（公民館まつり）事業  
申請者 仙北公民館長

○吉田会長

ありがとうございました。20周年というお節目の意味もあるようでございます。これを機会にいろいろなイベントも考えておられるようですので、そのあたりもご理解いただいてご審議いただければと思います。

○須田委員

この事業は地域の老若男女が集まる機会であります。私も主催者側のスタッフとして、沢山の皆様にお越し願いたいと思っております。是非よろしく願いたいします。

○後藤委員

いつも大変なご難儀をかけております。私たちも発表の場をいただいております。参加市民側としてもぜひ願いたいします。

○原委員

私も大賛成です。

○吉田会長

いかがでしょうか。承認してよろしいでしょうか。

**【全員一致で異議なしの声あり】**

それでは、承認いただいたものといたします。

続きまして、No. 1 2の「史跡の里杯グラウンド・ゴルフ大会」についてご説明願います。

○説明者 藤嶋主幹

No. 1 2、資料No. 5

事業名 15周年記念 史跡の里杯グラウンド・ゴルフ大会

申請者 大仙市仙北グラウンド・ゴルフ協会会長 伊藤稔

○会長

この事業はグラウンド・ゴルフのみならず、南門建立20周年記念ということで南門のぼり体験などのイベントと合わせた事業でもあるようでございます。参加者も250名ということで、さらには子どもグラウンド・ゴルフもありますので相当大きなイベントになるのでしょうか。皆様のご意見を伺いたいと思っております。

○大釜委員

関係者としてもぜひお願いしたいと思います。

○池田委員

例年の参加状況について教えていただけますでしょうか。

○大釜委員

今年で 15 回目ですが、当初は 300 人を超す参加者があり、東北規模の大会であります。昨年も 200 人近い参加者がありました。だいたい継続してその位であります。

○池田委員

わかりました。賛成です。

○後藤委員

グラウンド・ゴルフ大会への参加資格に協会会員とありますが、一般の方の参加はできないのでしょうか。

○藤嶋主幹

開催要項のとおり、協会会員になっていることが参加資格のようです。毎年恒例のグラウンド・ゴルフ大会本体については、参加者の参加費で賄って行われます。地域枠予算の 30 万円は、15 周年ということで付随した、いわば今回限りのイベント部分のついての補助金という考え方です。この部分に関しては、地域の皆さんに周知を図り、参加していただくものであります。

○課長

グラウンド・ゴルフの開催要項のみを今回の資料に載せてございますが、実際に地域枠予算を使うのは、この他の親子 20 組の子どもゲームと南門建立 20 周年ちなんだ体験学習、B 級グルメコーナーなどの部分になります。こちらについては実績報告していただく時に、写真等で詳しくご紹介できるものと思います。

○吉田会長

今、加えての説明がありました。いかがでしょうか。



**【全員一致で異議なしの声あり】**

それでは、承認とさせていただきます。

○吉田会長

次のNo.13～No.17までは、新規のⅡ型でございます。いずれも菅江真澄の標柱の申請でございますのでまとめて説明してください。

○説明者 藤嶋主幹

No.13、No.14、No.15、No.16、No.17、資料No.6～10

事業名 菅江真澄標柱改修事業

申請者 戸地谷北部町内会、川前中央町内会、鶴田自治会、  
上払田部落会、高梨第三支部

このうち上払田部落会の長森柵跡についてですが、文化財保護班より柵の上での埋め込みは遠慮してほしいとの指導がありました。方法の1つとしては、南門の見えるところに移動して建立するとなると予算内でできるのですが、山の上に建てるのであれば別途追加での費用が必要になります。追加の可能性も含めて承認いただければというお願いであります。

○吉田会長

標柱につきましては、仙北地域のみならず、大仙市全体で取り組んではどうかという市長さんのご意向もいただきましたようですが、仙北地域として、まずはやれるところまで続けていければと思います。

長森に関しても、もし超過した場合は、次回修正し承諾をもらう形でよろしいでしょうか。

**【全員一致で異議なしの声あり】**

それでは、承認とさせていただきます。

次の議案でございます。No.18の「仙北地域活性化対策事業」について事務局の方からお願いいたします。

○説明者 藤嶋主幹

No.18、資料 11 事業名 仙北地域活性化対策事業 自治会連合会  
申請者 自治会連合会 会長 原 隆新

○吉田会長

ただいま説明にありました自治会連合会の事業は、非常に大変な事業だと思っております。

会長さんの原さんは大変ご難儀されていることと思いますが、皆さんからのお知恵も含めましてご審議願いたいと思います。

○原委員

自治会連合会事業ということで、多くの方に参加していただきながらいろいろやりたいのですが、何しろ予算がありません。この地域枠予算はありがたい限りです。まだまだ浸透しきれない部分もあり、集まってくれる方が少ない現状もありますが、少しずつ積み重ねるように実績をつくっていくことで、活動や事業の効果も期待が持てるものと思っております。どうか、よろしく願いいたします。

○佐々木（誠）委員

自治会のコミュニティが益々重要視される時代に入ってきていると思います。やはりこのような注目をされるイベント等の事業を企画し、ぜひ地域枠予算を活用しかんばっていただきたいと思えます。

○佐々木（勝）委員

非常に良いことだと思いますし賛成です。ただやっている方々に大変にご難儀を掛けることと思いますがよろしく願いしたいと思えます。

○吉田会長

皆様の励ましとともに賛成を得たということで、承認いただいたということでよろしいでしょうか。

**【全員一致で異議なしの声あり】**

ありがとうございます。

最後の案件となります。No.19の「一ツ森公園紫陽花園標柱改修事業」、新規のI型であります。ご説明願います。

○説明者 藤嶋主幹

No.19 資料No.12 事業名 一ツ森公園紫陽花園標柱改修事業  
申請者 市民サービス課長

○吉田会長

首都圏仙北町ふるさと会で設置した標柱の改修事業でございます。ふるさと納税との関連や、ふるさとを想う人々と地域の住民としての関係を考えると蔑ろにできない感がございます。

○佐藤（美）委員

どうせ改修するのなら、より耐久性のある亜鉛パイプにしたほうが良いのではないのでしょうか。

○市民サービス課長

菅江真澄の標柱のサイズは、紫陽花園の標柱にしては長くて大きいです。

この標柱は、既存のサイズで程良い大きさとさりげない味わいを出しながら改修したいものであります。

○吉田会長

サイズはこのとおりでも、この規格で亜鉛にしたらいかがですかという提案ですね。せっかく改修してもまた10年やそこらで傷んでしまいますようであれば残念なことですし、いかがなものでしょうか。

○小松副主幹

業者見積もりは菅江真澄の標柱業者と同じところでいただいております。既存の物を見ていただいたところ、今回の見積もりに挙げたような工法が良いのではないかとということでした。耐久性も亜鉛パイプと遜色ないとのことではありました。ですが、会での協議を受けまして、耐久性を重視するという観点からもう一度業者に確認を取りたいと思います。その上で、亜鉛パイプでの施行を行うことになり、掛り増しした予算の使い方をお願いすることがあるかもしれませんのでよろしくお願いたします。

○吉田会長

改修に関しては賛成ですが、確認して可能であればより長持ちする形でおこなってもらいたいです、掛り増しについては次回の報告で承認という形をお願いするということによろしいでしょうか。

### 【全員一致で異議なしの声あり】

ありがとうございます。

これで、第3回の地域枠予算についての議事の審議は終了となります。

## 6 その他

### ① 大仙市誕生10周年式典実行委員の推薦について

(市民サービス課長より)

各地域協議会の委員から一人選出する必要があったが、時間的に余裕がなかったため、吉田会長と相談して、大釜滝浩委員を選出し報告済。

### ② 大仙市雪対策計画協議会について

(吉田会長より)

9月1日協議会開催。自分たちの地域の実状や意見等を記述したものを提出のこと(25日までに市民サービス課へ)

### ③ 流雪溝の取手が壊れた場合は、どこに言えばよいか。(後藤委員)

県道に関しては直接県に報告。農林建設課を通しても良い。

(農林建設課長)

### ④ 菅江真澄の標柱・リーフレット・DVD等について

標柱改修が終了した後のことだが、リーフレット・DVD等の作成を手掛けていくことも検討してはどうか。点から線への実現を目指して仙北地域から発信することができるかもしれない。

(市民サービス課長・吉田会長)

この会議の記載が真正であることを保証するためここに署名、捺印する。

仙北地域協議会署名委員 原 隆 新 .....

仙北地域協議会署名委員 伊 藤 良 子 .....